

1 調査名称：中津川市都市交通マスタープラン策定調査

2 調査主体：中津川市

3 調査圏域：中津川市全域

4 調査期間：平成25年度～平成26年度

5 調査概要：

平成39年開業予定のリニア中央新幹線は、中津川市西部に中間駅及び車両基地が設置されることが明らかになり、当該地区は、既存の中央自動車道中津川IC及び国道19号による道路結節点機能に加え、飛騨方面を始めとして県内各域への新たな広域観光ルート中継地点としての役割が期待されている。

今後、この広域交通拠点としてのポテンシャルを最大限に活用し、岐阜県の東の玄関にふさわしいまちづくりを実現するために、新たな都市基盤整備や市全域の地域活性化等の様々な取り組みが必要となる。

本調査は、交通分野における基本的な計画を示す中津川市交通マスタープランを策定し、本市の交通課題を解決することを目的とするとともに、各種施策の具体的な実施方針を示したアクションプランを併せて作成し、リニア開業までの間に実施すべき施策を定めるものである。

I 調査概要

1 調査名：中津川市都市交通マスタープラン策定調査

2 報告書目次

序章 計画の目的と位置づけ

- 序－1 中津川市都市交通マスタープランの目的
- 序－2 中津川市都市交通マスタープランの位置づけ
- 序－3 目標年次

第1章 上位関連計画等の整理

- 1－1 交通環境整備に関する上位関連計画
- 1－2 リニア関連計画

第2章 現況分析

- 2－1 中津川市の概要
- 2－2 人口・世帯
- 2－3 各種施設の分布状況
- 2－4 中津川市関連の移動実態
- 2－5 市街地の状況
- 2－6 中津川市の現況把握のまとめ（まちづくりの基本的課題）

第3章 中津川市の交通現況及び問題点

- 3－1 鉄道
- 3－2 鉄道駅・駅前広場
- 3－3 バス
- 3－4 道路の整備状況
- 3－5 中津川市の交通環境に対する意向把握
- 3－6 中津川市の交通現況及び問題点

第4章 リニア開業を踏まえた問題点

- 4－1 広域交通の問題点

- 4－2 都市内交通の問題点
- 4－3 交通空間・まちづくり上の問題点

第5章 中津川市の将来都市構造の検討

- 5－1 まちづくりの理念について
- 5－2 将来都市構造の検討の前提条件
- 5－3 中津川市の将来都市構造

第6章 中津川市の交通課題

第7章 将来像の設定

- 7－1 目指す将来像の設定
- 7－2 基本方針の設定

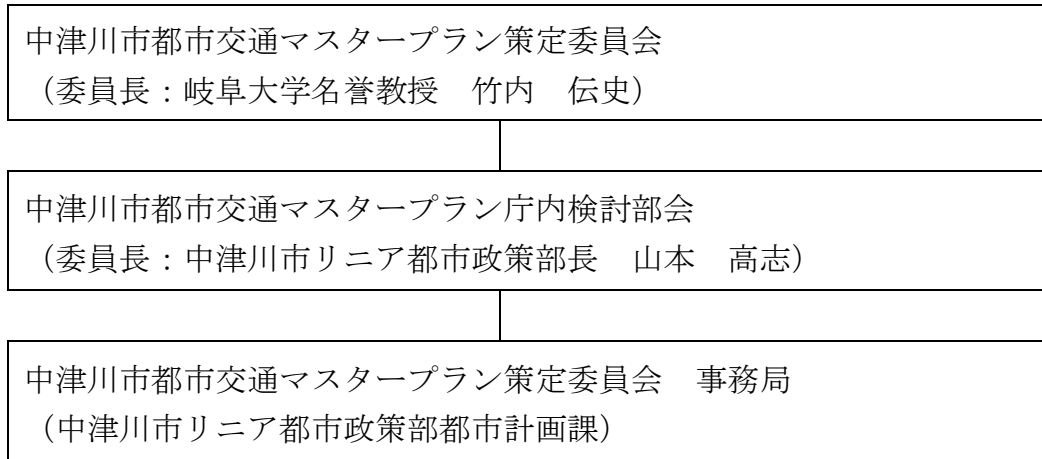
第8章 交通施策の検討

- 8－1 交通施策の方針
- 8－2 交通施策の体系
- 8－3 交通施策の抽出

巻末資料

- 中津川市都市交通マスタープラン策定委員会名簿
- 中津川市都市交通マスタープラン策定委員会設置要綱
- 策定の経緯

3 調査体制



4 委員会名簿等

	所属・役職等	氏名
委員長	岐阜大学名誉教授	竹内 伝史
副委員長	岐阜大学工学部教授	倉内 文孝
委員	国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所長	(前任) 草野 慎一 伊藤 仁志
委員	国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	(前任) 棚橋 秀幸 田中 範明
委員	岐阜県県土整備部道路建設課長	(前任) 船坂 徳彦 宮島 雅広
委員	岐阜県都市建築部都市政策課長	渡瀬 友博
委員	岐阜県都市建築部公共交通課長	(前任) 国島 英樹 松田 勲
委員	岐阜県都市建築部都市整備課長 岐阜県都市建築部街路公園課長	(前任) 種 康雄 奥原 寿隆
委員	岐阜県恵那土木事務所副所長	(前任) 小川 泉 可児 稔
委員	岐阜県中津川警察署交通課長	(前任) 加藤 徹 武山 弘爾 (前任) 中尾 学
委員	中津川商工会議所副会頭	原 満夫
委員	中津川北商工会会長	岡山 金平
委員	一般社団法人中津川青年会議所直前理事長	古川 善博
委員	中津川市区長会連合会理事	小林 栄寿
委員	社会福祉法人中津川市社会福祉協議会事務局長	(前任) 三浦 博行 加藤 泰久
委員	中津川市老人クラブ連合会会長	松田 正義
委員	中津川市観光連絡協議会会長	原 善一郎
委員	恵那貨物自動車運送株式会社代表取締役 (岐阜県トラック協会) 中津貨物自動車株式会社代表取締役会長 (岐阜県トラック協会)	(前任) 小澤 利秋 郷原 幸夫
委員	北恵那交通株式会社代表取締役業務統括 (岐阜県バス協会) 北恵那交通株式会社取締役社長 (岐阜県バス協会)	(前任) 恒川 善彦 田中 伸幸
委員	近鉄東美タクシー株式会社社常務取締役支配人 (岐阜県タクシー協会)	中川 龍二
委員	明知鉄道株式会社代表取締役専務	丸山 朝夫
委員	中津川市理事	丸山 裕章
委員	中津川市定住推進部長	渡邊 好夫
委員	中津川市健康福祉部長	早川 和子
委員	中津川市商工観光部長	成瀬 博明
委員	中津川市リニア都市政策部長	山本 高志
委員	中津川市基盤整備部長	渡邊 弘孝
委員	中津川市基盤整備部建設課長	(前任) 小木曾 寿之 林 友義
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長	(前任) 牛居 恒太 福田 光祐
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局道路部地域道路課長	(前任) 宮内 秀弘 棚橋 真澄

II 調査成果

1 調査目的

中津川市では、人口減少、少子高齢化が進展し、今後、投資余力が減退していくことが懸念される中、持続可能な都市の形成に向け、市民の暮らしの充実や安全・安心の確保、市内産業の活性化を効率的・効果的に支援するための計画を策定し、順次施策を進めてきた。

こうした中、平成25年9月に、リニア岐阜県駅がJR美乃坂本駅周辺に整備されることが決定したことを受け、これまでの各種交通課題に対応するとともに、リニアのまちづくりを推進するため、市内の交通環境の再構築が必要となった。

中津川市では、交通環境の再構築に向けた各種施策を効率的・効果的に進めていくために、「中津川市都市交通マスタープラン」を策定することを目的とする。

2 調査フロー

上位・関連計画の整理

- ・ 上位・関連計画の整理
- ・ リニア関連計画の概要

現況分析

- ・ 都市の現状と動向
- ・ 交通の現状と動向
- ・ アンケート調査による実態把握
- ・ 鉄道駅周辺の交通施設の利用実態の把握
- ・ 現状の交通の問題点の抽出

都市計画道路網の課題整理

- ・ 都市計画道路整備のフォローアップ
- ・ 将来交通量推計の実施
- ・ 現行計画道路網の課題整理

本市の交通課題の抽出

本市が目指す将来像

- ・ 基本目標の設定
- ・ 本市が目指す将来像の設定

施策の方向性の検討

将来道路網の設定

- ・ 将来道路網の基本方針
- ・ 都市計画道路網の見直し素案の検討
- ・ 将来道路網の設定

リニア岐阜県駅 駅前広場基本構想の検討

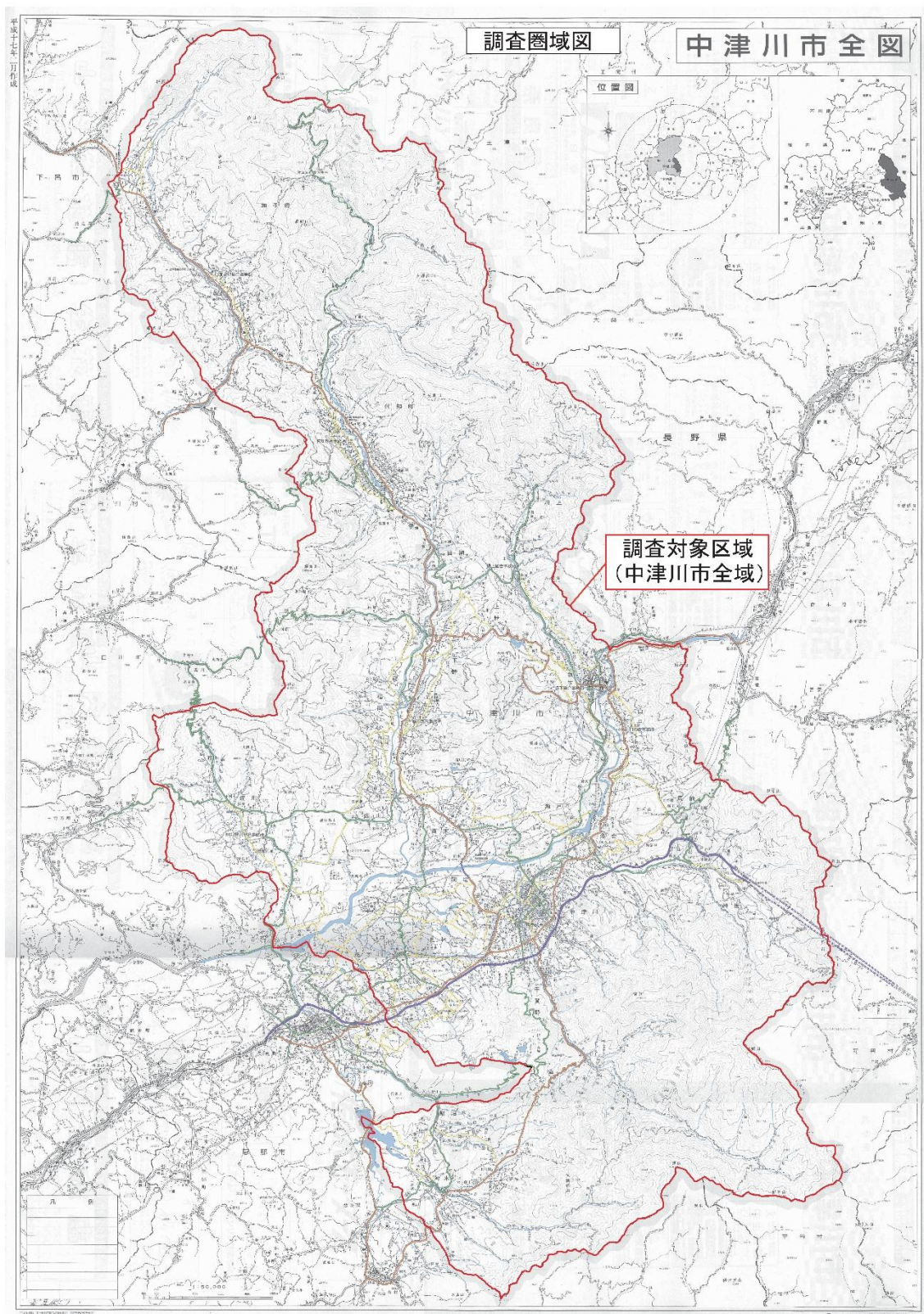
交通手段別の施策検討

交通マスタープランの作成

パブリックコメントの企画・とりまとめ

報告書の作成

3 調査圏域図



4 調査成果

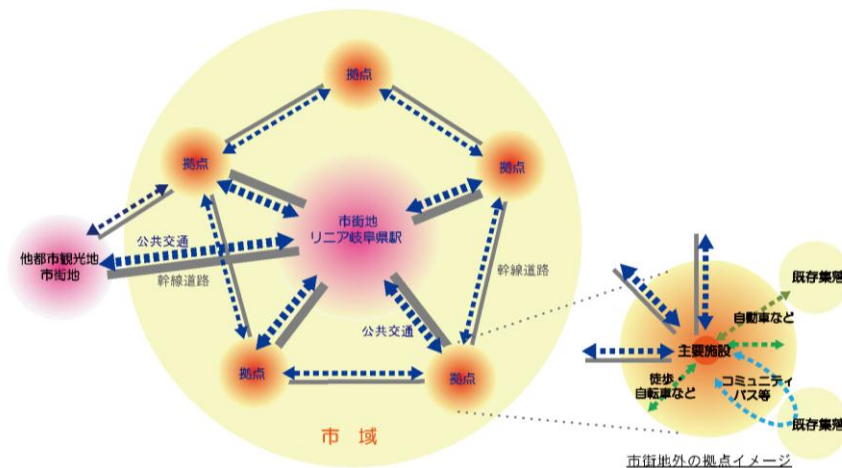
■まちづくりの理念について

中津川市では、リニア岐阜県駅の開業により、東濃圏域、または岐阜県全域の東の玄関口としての広域的な交通結節点が新たに形成される。これを契機として市全体を活性化させるためには、市内外への来訪者がより円滑に各目的地へ移動できるような、利便性の高い交通環境を確保する必要がある。また、今後高齢者が増加し、中津川市の将来を担う若年層の減少が想定される中、日常生活において、全ての市民が安全・安心に生活できる交通環境の形成が必要である。

さらに、社会資本整備費が縮小傾向にある中で、利便性が高く、全ての市民が安全・安心に生活できる交通環境を確保しながら、持続可能な都市を形成するためには、新たな拠点を含めたコンパクトな都市構造の形成が求められる。その一方で、現在の都市構造は、市の形成経緯や地形条件等から、中津川駅周辺の中心市街地周辺や、各地区の幹線道路の沿線に住宅地や公共施設等が分散立地している。このため、リニア開業を契機として市全体を活性化させるためには、各地区の独自の文化や自然環境などの地域資源を活用した定住促進や観光振興が重要である。

以上から、中津川市都市交通マスタープランでは、各地区の生活や資源・文化等の特性を活かしながら、持続可能な中津川市を形成するため、各地区の特性や生活環境に配慮しながら市内に集約拠点を配置し、これらを公共交通等で有機的に結びつけた「多拠点ネットワークによる集約型都市構造」の形成を推進していく。

■多拠点ネットワークによる集約型都市構造イメージ

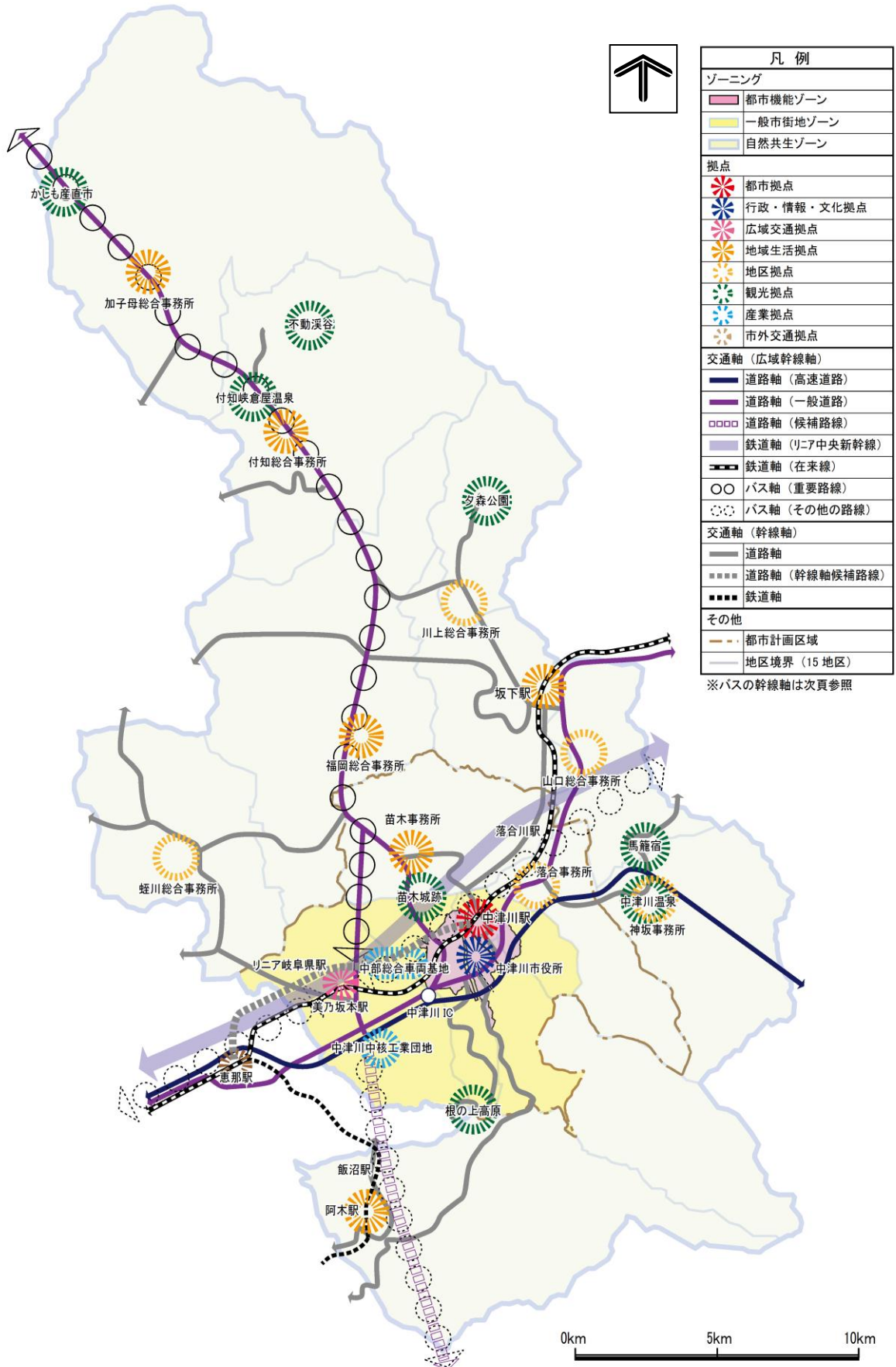


中津川駅周辺の市街地やリニア岐阜県駅周辺では、無秩序なまちの拡大を抑制するため、居住機能や行政機能などの必要な施設を集積させ、歩いて暮らせるまちを形成する。

また、その他の地域では、総合事務所などの主要施設周辺に最寄品の店舗などの生活サービス機能や地域公共交通を充実させることで、この場所を住宅などの立地場所として選択する転入者や事業者が増え、拠点内の集積性が高まるとともに、多様な交通手段を用いて生活できるような拠点形成を目指す。

これにより、拠点内外の人が、効率的な交通ネットワークにより円滑に移動できるような交通環境を形成する。

■ 将来都市構造図



■ 目指す将来像の設定

中津川市の将来都市構造の検討において、社会資本整備費が縮小傾向にある中で、利便性が高く、全ての市民が安全・安心に生活できる交通環境を確保しながら、持続可能な都市を形成するために、「多拠点ネットワークによる集約型都市構造」の形成を推進していくことを位置づけた。

「多拠点ネットワークによる集約型都市構造」を基本として、中津川市総合計画に掲げる「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川」の実現を支援するため、関係者が共有すべき交通環境の将来像を定める。

中津川市総合計画をはじめとした上位・関連計画には、都市の将来イメージとして、人口減少や少子高齢化が進展する状況下でも、誰もが安心して地域でいきいきと活動することができる都市を形成することや、まちの活気を高めながら、中津川市の文化・歴史、自然の豊かさ、産業を次世代へと継承していくことが位置づけられている。

これらの将来イメージの実現に向け、中津川市都市交通マスタープランでは、目指す将来像を「誰もが安心して快適に移動でき、交流しつづけるまち 中津川」と設定する。

中津川市で暮らす人、活動する人、訪れる人の全ての人が、多様な手段でいつでも安心して快適に移動できる交通環境の形成し、日常生活での人々の交流を支えるとともに、リニア開業を契機として市外からの交流人口の拡大を目指す。

目指す将来像

誰もが安心して快適に移動でき、交流しつづけるまち 中津川

多拠点ネットワークによる集約型都市構造を基本として、人口減少や少子高齢化が進展する状況下でも、誰もが安心して地域でいきいきと活動することができ、また、まちの活気を高めながら、中津川市の文化・歴史、自然の豊かさ、産業を次世代へと継承することができるよう、以下の交通環境の形成を目指す。

○中津川市で暮らす人、活動する人、訪れる人の全ての人が、多様な手段でいつでも安心して快適に移動できる。

○日常生活での人々の繋がりを支えるとともに、リニア開業を契機として市外からの交流人口の拡大に資する。

■ 交通施策の体系

基本方針や施策の方針を踏まえ、以下のとおり各交通手段に対する施策を展開する。なお、都市計画道路は、まちづくりや多様な手段に横断的に関連するため、整備方針について交通手段別の施策とは別に整理する。

基本方針	施策の方針	交通施策				
		自動車	公共交通	自転車	徒歩	共通施策
基本方針Ⅰ：＜安全・安心＞ 全ての人の安全・安心な 生活を支える交通環境の形成	I-(1)安全な居住空間・活動空間の確保		⑤交通結節点の整備	①自転車走行空間整備 ②自転車利用ルールの周知活動	①安全な歩行空間・生活空間の整備	②交通安全の啓発活動
	I-(2)自動車交通の安全性向上	④自動車交通事故対策				②交通安全の啓発活動
	I-(3)幹線軸へのアクセス機能の確保	⑤主要生活道路、公共性道路等の改良				
	I-(4)全ての人の移動の足の確保		④支線バス・個別輸送手段等の構築			
	I-(5)バリアフリーな交通環境の形成		⑤交通結節点の整備			④交通環境のバリアフリー化
	I-(6)災害に強い道路網の形成	①広域幹線道路の整備 ②幹線道路の整備 ⑤主要生活道路、公共性道路等の改良				
基本方針Ⅱ：＜便利＞ 利便性の高い交通軸・交通空間の形成	II-(1)広域からニア岐阜県駅とのアクセス利便性の確保	①広域幹線道路の整備	①在来線の運行体系の改善 ②広域幹線バスネットワークの構築			
	II-(2)市内道路網の拡充	②幹線道路の整備				
	II-(3)広域幹線軸・幹線軸(道路)等の混雑緩和	②幹線道路の整備 ③ボトルネック交差点の解消 ⑥各拠点での駐車場の整備	①在来線の運行体系の改善 ②広域幹線バスネットワークの構築			
	II-(4)公共交通の利便性の向上	③ボトルネック交差点の解消 ⑥各拠点での駐車場の整備	③市内幹線バスネットワークの構築 ⑤交通結節点の整備			
	II-(5)公共交通の利用促進					①公共交通の利用促進活動
基本方針Ⅲ：＜賑わい＞ 賑わいを創出する交通環境の形成	III-(1)都市拠点とニア岐阜県駅との拠点間連携軸の形成	②幹線道路の整備				
	III-(2)快適に観光施設を回遊できる交通環境の形成	①広域幹線道路の整備 ⑥各拠点での駐車場の整備	②広域幹線バスネットワークの構築 ③市内幹線バスネットワークの構築	①自転車走行空間整備 ②自転車利用ルールの周知活動	①安全な歩行空間・生活空間の整備 ②ゆとりある歩行空間の創出	⑤観光振興に資する交通システムの検討
	III-(3)魅力的な道路空間の確保				②ゆとりある歩行空間の創出	
	III-(4)交通結節施設を活用した交流空間の確保		⑤交通結節点の整備			
基本方針Ⅳ：＜活力＞ 円滑な産業活動を支える 交通環境の形成	IV-(1)広域的な物流ネットワークの形成	①広域幹線道路の整備				
	IV-(2)物流ネットワークの安全性・信頼性の向上	①広域幹線道路の整備 ②幹線道路の整備 ④自動車交通事故対策				②交通安全の啓発活動
	IV-(3)中部総合車両基地と新規居住地間の移動の利便性の確保	②幹線道路の整備	③市内幹線バスネットワークの構築		①安全な歩行空間・生活空間の整備	
基本方針Ⅴ：＜自然＞ 美しい自然にやさしい交通環境の形成	V-(1)低炭素・省エネルギーな交通手段の利用促進	③ボトルネック交差点の解消	③市内幹線バスネットワークの構築 ⑤交通結節点の整備	①自転車走行空間整備 ②自転車利用ルールの周知活動	①安全な歩行空間・生活空間の整備	③環境負荷の軽減に向けた取組み

都市計画道路網の再編・整備推進

■交通施策の抽出結果一覧 (1/2)

交通手段	施策名	施策の概要 (凡例:リニア開業までに取り組む施策(現在の想定)) ■ : 重点目標1(~H38) ■ : 重点目標2(~H38) ■ : 長期的な対応となる施策	重点目標1		重点目標2		長期対応		
			重点施策	拠点整備	交通軸の整備	全体施策		拠点整備	交通軸の整備
自動車	①広域幹線道路の整備	1)濃飛横断自動車道の整備					○		
		2)瑞浪恵那道路の整備					○		
		3)三河東美濃連絡道路の整備 ※1							○
		4)神坂PA スマートインターチェンジの整備促進					○		
	②幹線道路の整備	1)中津川市・恵那市の中心市街地を直結する道路の整備	○				○		
		2)リニア岐阜県駅 駅進入道路の整備	○				○		
		3)市街地内環状道路の整備推進	○	○			○		
	③ボトルネック交差点の解消	1)混雑指摘箇所の交差点改良等	○		○				
	④自動車交通事故対策	1)交通安全施設の整備				○			
	⑤主要生活道路、公共性道路等の改良	1)主要生活道路、公共性道路の現道拡幅(必要幅員の確保)		○					
		2)安全な避難経路の整備		○					
		3)主な緊急物資輸送路の現道拡幅		○					
	⑥各拠点での駐車場の整備	1)鉄道駅周辺での駐車場の整備 ※2							○
		2)地域生活拠点でのP&R駐車場の確保 ※2							○
公共交通	①在来線の運行体系の改善	1)JR美乃坂本駅~JR岐阜駅間の直通快速列車の創出					○		
		2)リニアの運行に即した運行体系の改善(JR)					○		
		3)行き違い設備の整備促進(明知鉄道)			○				
		4)運行体系の改善(明知鉄道)			○				
	②広域幹線バスネットワークの構築	1)下呂・高山方面と広域交通拠点を連絡する快速バスの整備					○		
		2)周辺都市への新規バス路線の創出					○		
	③市内幹線バスネットワークの構築	1)路線バスの維持・改善			○				
		2)乗換えダイヤの再編			○				
		3)中部総合車両基地へのバス交通の創出					○		
	④支線バス・個別輸送手段等の構築	1)福祉巡回バスの維持・改善		○					
		2)個別輸送サービスの導入		○					

※1：整備に向け、継続的に周辺住民や関係機関との調整を図っていく。

※2：都市拠点の賑わい創出や交通軸の混雑緩和、公共交通の利用促進に対しては、市街地ゾーンの幹線道路の整備や路線バスの維持・改善など、道路網の形成やバス軸のサービス改善施策を優先的に推進することで対応することとし、各拠点での駐車場の整備は長期対応とする。なお、交通需要やニーズの変化に対して必要に応じて整備を検討する。

■交通施策の抽出結果一覧 (2/2)

交通手段	施策名	施策の概要		重点目標1			重点目標2			長期対応	
		(凡例:リニア開業までに取り組む施策(現在の想定))		重点施策	拠点整備	交通軸の整備	全体施策	拠点整備	交通軸の整備		全体施策
公共交通	⑤交通結節点の整備	1)リニア岐阜県駅周辺の交通結節施設の整備		○				○			
		2)リニア岐阜県駅 駅舎内施設の整備		○				○			
		3)美乃坂本駅の改修		○				○			
		4)在来線駅の駅前広場の改修 中津川駅 ※3									○
		4)在来線駅の駅前広場の改修 坂下駅			○						
		5)地域生活拠点の主要バス停の高質化			○						
自転車	①自転車走行空間整備	1)自転車走行空間整備			○						
		②自転車利用ルールの周知活動	1)自転車利用ルールの周知活動				○				
歩行者	①安全な歩行空間・生活空間の整備	1)市内通学路における歩車分離					○				
		2)拠点周辺の主要路線の歩行空間の整備			○						
		3)生活空間の自動車交通の静穏策			○						
	②ゆとりある歩行空間の創出	1)まちづくりと一体となったまちなみ景観の保全						○			
		2)沿道民有地と一体となった歩行空間の創出						○			
共通	①公共交通の利用促進活動	1)モビリティマネジメントの実施					○				
		②交通安全の啓発活動	1)交通安全のための広報活動					○			
		2)街頭啓発活動						○			
		3)児童・生徒への啓発活動						○			
		4)リニア工事車両の交通安全管理の徹底 (リニア工事に係る交通安全対策の実施)						○			
		4)リニア工事車両の通行経路における道路整備 (リニア工事に係る交通安全対策の実施)						○			
	③環境負荷の軽減に向けた取組み	1)市民・事業所等と連携した環境保全意識の高揚						○			
		2)自動車利用の平準化						○			
		3)電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHV)の普及促進						○			
		4)市内でのEV・PHV用充電設備の整備						○			
	④交通環境のバリアフリー化	1)歩行空間のバリアフリー化						○			
		2)バリアフリー車両の導入						○			
	⑤観光振興に資する交通システムの検討	1)電動アシスト自転車の利用促進								○	
2)観光タクシーの利用促進									○		
3)観光レンタカーの利用促進									○		
都市計画道路網の再編・整備推進					○				○		

※3：公共交通の利便性向上に対して、路線バスの維持・改善などのバス軸のサービス改善施策を優先的に推進することとし、駅前広場の整備は長期対応とする。なお、交通需要やニーズの変化に対して必要に応じて整備を検討する。

■交通施策の抽出（自動車）

中津川市の目標像や将来都市構造に対応した道路ネットワークの構築に向けて、自動車交通を処理する骨格道路について、求める機能と路線の位置づけを以下のとおり設定し、必要な交通処理機能を確認する。

また、各拠点の良好な生活環境の形成に向け、これら骨格道路網と各拠点の主要施設や住宅地を連絡する地域内の道路網や、駐車施設の整備を推進する。

【将来骨格道路網の設定】

●高速道路

高速道路は自動車交通を処理する道路であり、岐阜県や愛知県・長野県を始め全国の各都市との間を行き来する、広域的な人々の移動や物流交通を大量かつ円滑に処理する道路として機能する中央自動車道を位置づける。

●広域幹線道路

広域幹線道路は、岐阜県内及び周辺都市との広域的な人々の移動や物流交通を円滑に処理する道路であり、南北軸を形成する国道 257 号、濃飛横断自動車道、三河東美濃連絡道路と、東西軸を形成する国道 19 号、瑞浪恵那道路を位置づける。

●幹線道路

<各拠点相互や周辺自治体を連絡する道路>

各拠点相互や周辺市町村を連絡し、人々の交流と円滑な産業活動を支える道路として、国道 256 号や国道 363 号、主要地方道福岡坂下線、中津川田立線、中津川南木曾線などの国道、主要地方道、県道や、その他坂本地区周辺の主な市道等を位置づけるとともに、長期的には多重性の確保についても配慮する。

<用途地域内の骨格を形成する道路>

広域幹線道路及び中津川駅等の主要な交通の発生源等を有機的に結び、都市の骨格を形成する道路として、(都) 緑町線、(都) 中津岩村線、(都) 三五沢・松源寺線、(都) 青木斧戸線を位置づける。

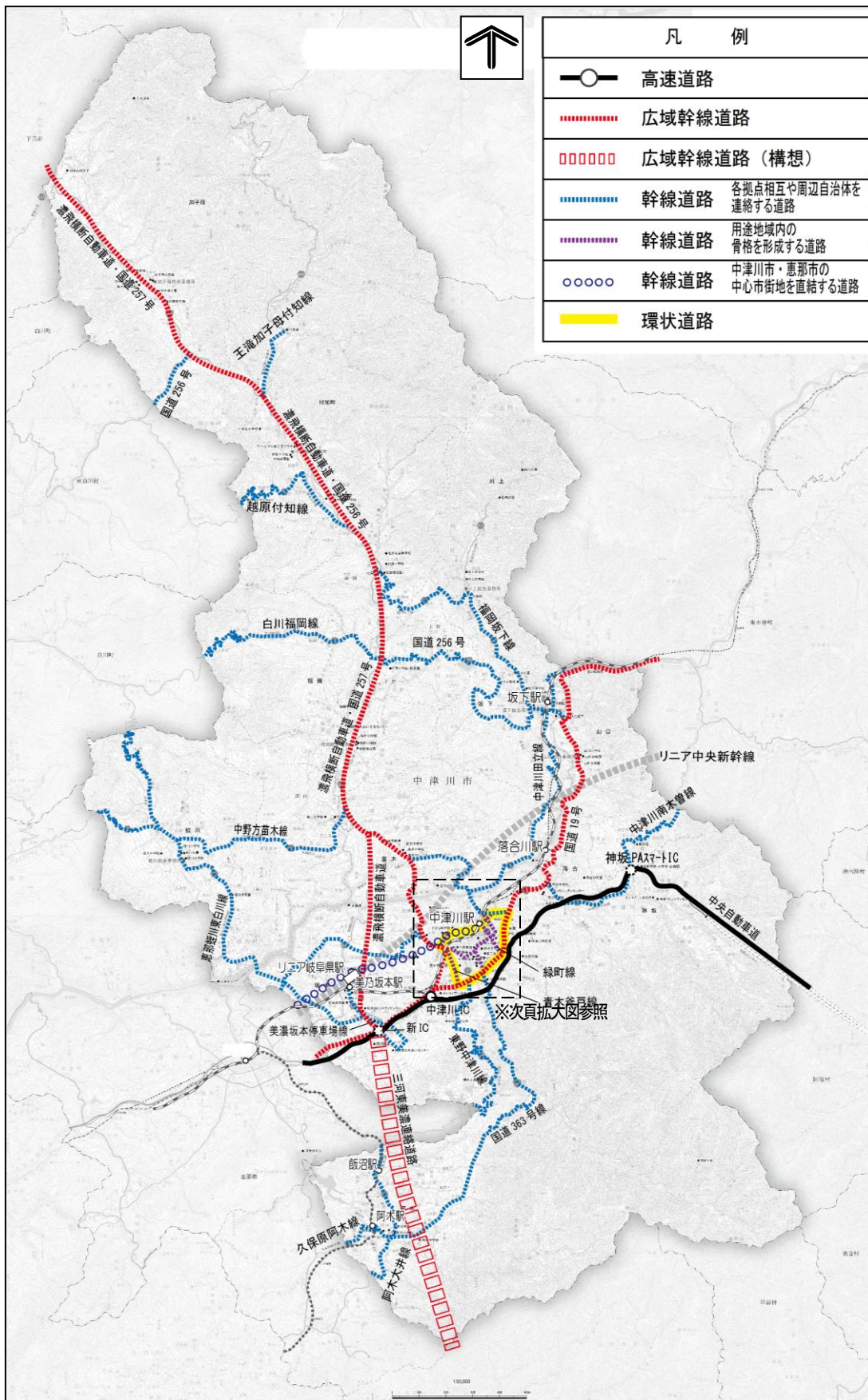
<中津川市・恵那市の中心市街地を直結する道路>

リニア開業を契機として中津川市のまちの賑わい向上を支え、中部総合車両基地からの物流交通を処理する道路として、中津川市・恵那市の中心市街地を直結する道路（新設構想）を位置づける。

●環状道路

用途地域が指定されている都市機能ゾーンにおけるピーク時の混雑緩和や、良好な市街地の形成に向け、都市機能ゾーンの通過交通を処理する道路として、国道 19 号、(都) 青木斧戸線、(都) 大平線、(都) 赤台上金線、(都) 中津苗木線、中津川市・恵那市の中心市街地を直結する道路の市街地内新設区間を位置づける。

■ 将来骨格道路網の形成



■ 将来骨格道路網の形成（拡大図）

